

9月2日水曜日に、2009年度洞爺湖町国際交流事業で来られている留学生5名が、ふる里の丘総合福祉館を訪問されました。

韓国、香港、ブラジルから来られた5名の皆さんは、日本の老人福祉施設をみるのは初めてということで、ケアハウス、養護老人ホーム、特別養護老人ホームをじっくりと見学されておりました。

見学を終えられての感想は「ホテルのようですね」、「お家にいるみたいです」ととても興味深げでした。見学後は、幸楽園のリハビリコーナーで“ふまねっと運動”を実践し、インストラクターでもある山本機能訓練指導員からの指導を受け、入居者の皆さんと、真剣にそして楽しく取り組んでいらっしゃいました。今週末には東京へ戻られるということですが、「北海道は食べ物が美味しくて、みんな親切で、とてもいい思い出ができました」と口々に笑顔で話しておりました。中には体重が?kg

した方もいたとか... でも、チェさん、ユンさん、チアゴさん、チャーリーさん、カレンさんまた来てくださいね！ スズキ



写真はご本人了解を得て掲載しております